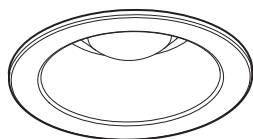


## 取扱説明書

住宅用照明器具（ダウンライト）

保管用

施工説明付き



品番 LGB73120LE1 LGB73121LE1  
LGB73104LE1 LGB73105LE1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
ご使用前に「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。  
この取扱説明書は大切に保管してください。  
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で  
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある  
内容」です。



**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が  
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



**警告**

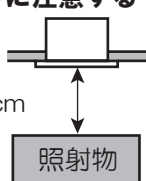
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る  
異常状態が収まったことを確認し、販売店  
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具  
などの可燃物が近づかないように注意する  
守らないと、照射物の変色、  
火災のおそれがあります。

必ず守る

照射物近接限度10cm

（ドア・家具・布などの可燃物）



分解禁止



禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない  
火災、感電、落下によるけがのおそれ  
があります。

- アルカリ系洗剤は使用しない  
強度低下により破損し、落下するおそれ  
があります。



**注意**

- 照明器具には寿命があります。  
設置して10年経つと、外観に異常が  
なくても内部の劣化は進行しています。  
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、  
感電、落下などに至る場合があります。  
◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」  
に基づき、自主点検してください。

必ず守る

- お手入れの際は電源を切る  
通電状態で行うと、感電の原因となる  
ことがあります。
- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する  
器具の取り外しには資格が必要です。



禁止

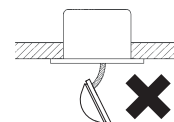
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない  
火災の原因となることがあります。  
◎器具の真下にストーブなどを置かないで  
ください。

- LEDを直視しない  
目の痛みの原因となることがあります。
- 器具配線やコネクタを過度な力で  
引っ張らない

充電部露出による感電の原因となる  
ことがあります。

- LEDユニットがぶら下がった状態で  
使用しない

充電部露出による感電の原因  
となることがあります。



## 施工説明

### 安全上のご注意

必ずお守りください

### 警告

#### ■ 天井

##### ● 次のような場所には取り付けない

火災・落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜角55度を超える天井面



禁止

- ◎この器具は天井面埋め込み専用です。
- ◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

##### ● 特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SG I・SG形適合品

マット敷工法

フローイング工法

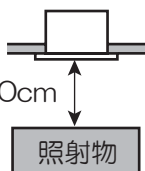


##### ● 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度10cm

(ドア・家具・布などの可燃物)



##### ● 本体を埋込穴に確実に押し込む

押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。



必ず守る



必ず守る

#### ■ 壁スイッチ

##### ● 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(取り外しには資格が必要です。)

#### ■ その他

##### ● 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

##### ● 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

##### ● 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。



禁止

##### ● 屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

### 注意



水ぬれ禁止

##### ● 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は、防湿、防雨型ではありません。



禁止

##### ● 温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジなど温度の高くなるものの上に  
取り付けないでください。



必ず守る

##### ● 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

### 施工前のご確認事項

安全のため、電源を切ってから行ってください

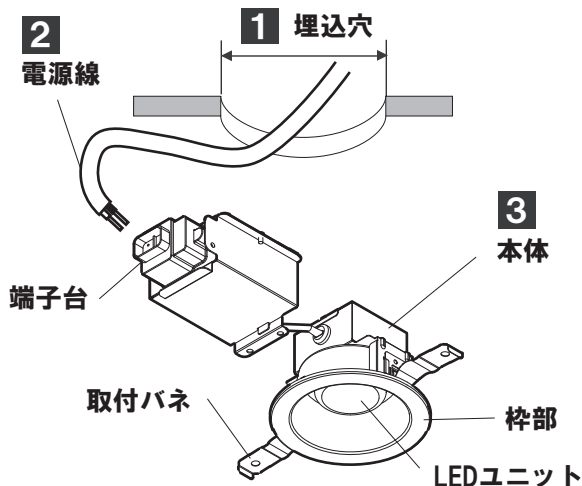
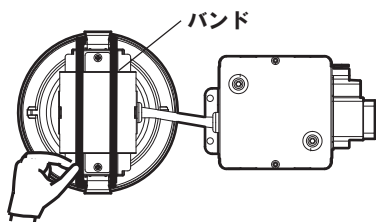
- 壁スイッチを設けることをおすすめします。
- 壁スイッチを設けると使用しない時やお手入れの際に電源を切ることができます。
- 壁スイッチ1個につき、器具8台まででご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。  
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

# 各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください。

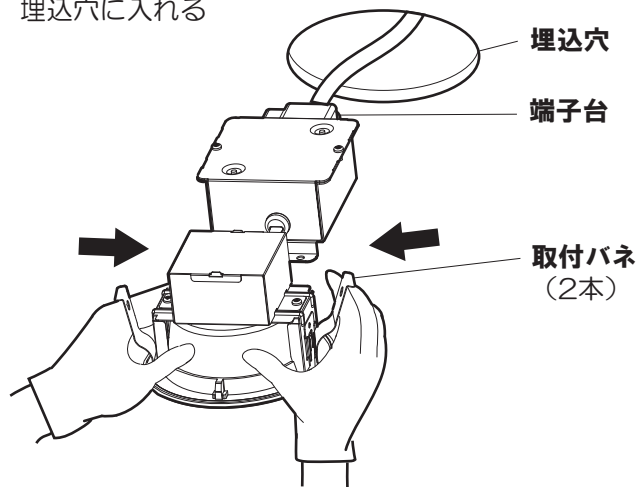
## 取り付け前のご注意

- 表面に1mm以上の凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- バンドを外してください。
- ① 取付バネのバンドより下側部分を押しながら
- ② バンドを外す

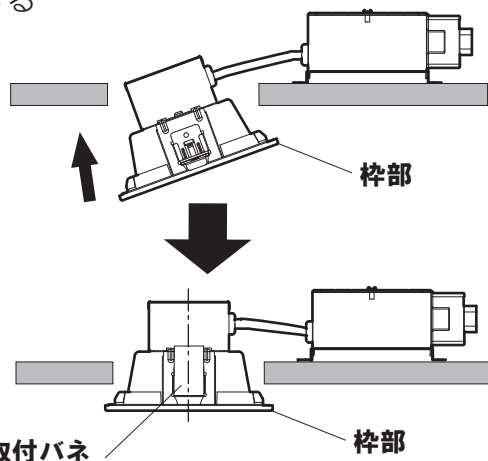


## 3 本体を埋込穴に入れる

- ① 取付バネ（2本）を押さえながら、端子台側から埋込穴に入れる



- ② 天井と枠部が平行になるように本体位置を調整する

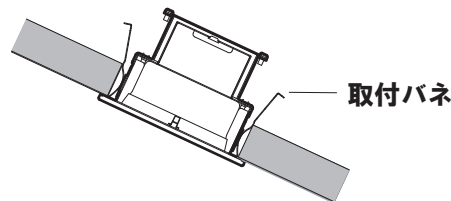


- 取付バネが埋込穴の中心にあることを確認して下さい。

- ③ 埋込穴に押し込む。

- 確認** 埋込穴が枠部でふさがれていることを確認する。  
すき間がある場合は、枠部をゆっくりと引き下げて取り外し再度③を行う。

- 傾斜天井に取り付ける場合は、傾斜方向の上下に取付バネがくるように取り付けてください。上記以外の方向で取り付けした場合、器具ズレ、ガタツキの原因となることがあります。



- 石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠部をゆっくり引き下げて取付バネ(2本)を押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損の原因となる場合があります。

## 1 天井に埋込穴をあける

- 天井の厚さにより、下記寸法の埋込穴をあける。

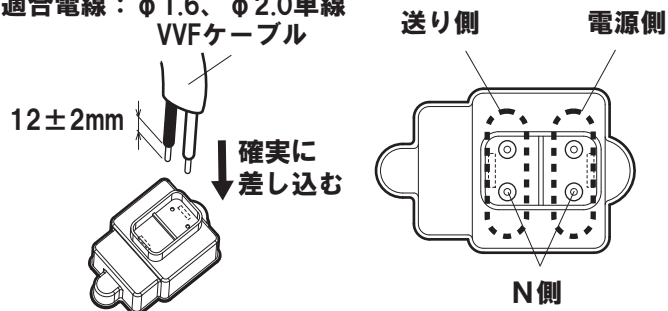
| 天井の厚さ |        | 埋込穴寸法                                                                |
|-------|--------|----------------------------------------------------------------------|
| 5mm以上 | 9mm未満  | $\phi 100 \pm 1 \text{ mm}$                                          |
| 9mm以上 | 25mm以下 | $\phi 100 \begin{smallmatrix} +2 \\ -0 \end{smallmatrix} \text{ mm}$ |

※指定寸法でない場合、すき間が空き気密性が保たれないおそれがあります。精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

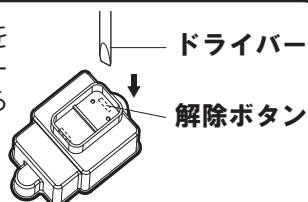
## 2 端子台に電源線を接続する

- 端子台に電源線を確実に差し込む。
- 送り総容量は4A以下です。

適合電線： $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線  
VVFケーブル



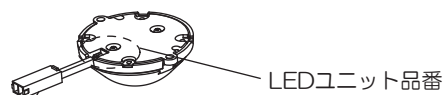
器具の取り替えなどで電源線を外す場合はマイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



# LEDユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

- LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。
- 交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。

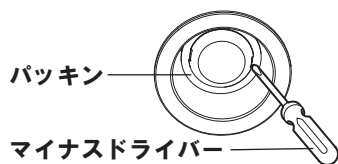


## 交換方法

注) 交換作業前に、必ず電源を切ってください。

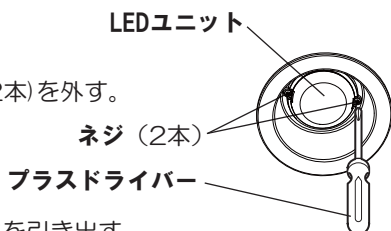
### 1 LEDユニットを取り外す

- ① マイナスドライバーなどを  
枠とパッキンの間に差し込み  
パッキンを外す。



注) パッキンを外す際、  
枠を傷つけないよう  
ご注意ください。

- ② プラスドライバーで  
LEDユニットを  
固定しているネジ(2本)を外す。

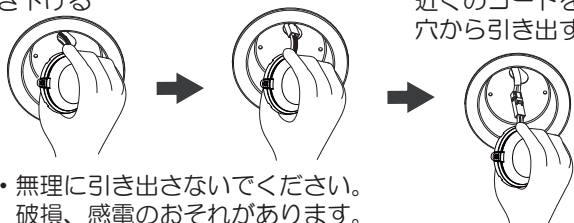


- ③ 貫通穴からコネクタを引き出す。

コードを押えながら LEDユニットを  
引き下げる

コネクタの先端  
を穴から出す

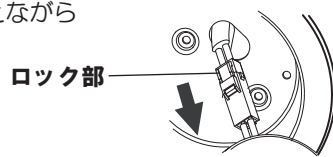
LEDユニットを  
手で覆い、コネクタ  
近くのコードを持ち  
穴から引き出す



- 注) ・無理に引き出さないでください。  
破損、感電のおそれがあります。  
・コネクタやLEDユニットで反射面、枠を  
傷付けないようご注意ください。

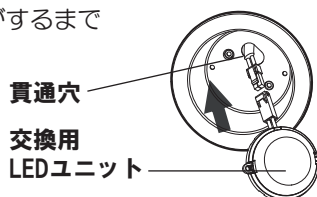
### 2 コネクタの接続を解除する

- ・コネクタのロック部を押さえながら  
接続を解除する。



### 3 交換用LEDユニットを接続する

- ・コネクタを”カチッ”と音がするまで  
差し込む。
- ・配線をはさまないように  
コネクタを貫通穴に  
押し込む。



### 4 交換用LEDユニットを取り付ける

- ① 交換用LEDユニットをネジ(2本)でしっかりと固定する。
- ② LEDユニット凹部に、パッキンを確実にはめ込む。



## ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

### 【 器具自体の留意点 】

- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに  
発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、  
または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

### 【 周囲の影響 】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に  
雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）  
のリモコンが動作しにくくなることがあります。

## お手入れについて

安全のため電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、  
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、  
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの  
揮発性のものでふいたり、  
殺虫剤をかけたりしないでください。  
変色、破損の原因となります。

## 仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

| 品番          | 使用電圧   | 周波数       | 消費電力 | 入力電流  | LED | 枠色   |
|-------------|--------|-----------|------|-------|-----|------|
| LGB73120LE1 | AC100V | 50/60Hz共用 | 8.0W | 0.14A | 昼白色 | ホワイト |
| LGB73121LE1 |        |           |      |       | 電球色 |      |
| LGB73104LE1 |        |           |      |       | 昼白色 | ブラック |
| LGB73105LE1 |        |           |      |       | 電球色 |      |

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは、異なります。）  
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間の  
いずれか短い時間を推定したものです。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2015

LGB73120LE1-T3A

N0615-00